

分野	授業科目	単位 (時間)	進度	担当	
専門基礎分野	治療論Ⅱ	1 (15)	1年後期	三宮克彦・野口大助 坂本佳・杉谷英太郎 大橋妙子 実務経験あり	
科目目的	リハビリテーションの概念と技術を理解する。				
科目目標	1. リハビリテーションの概念と対象者を理解し、看護におけるリハビリテーションの意義を理解する。 2. 具体的なリハビリテーションの技術を理解し、臨床看護の実践に役立てる。				
単元名	教育内容	時間	教育方法	担当	留意点
1. リハビリテーションの概念	1) リハビリテーションの概念と看護の役割 歴史・定義・リハビリテーション看護の役割・重要性	1	講義	三宮	基本的なリハビリテーションの概念の理解を促す。
	2) 障害の概念と障害受容 国際障害分類・国際生活機能分類・障害受容	1			
2. リハビリテーションの評価と基本動作	3) リハビリテーションにおける評価 機能評価・ADL評価方法と看護計画への応用	1	講義 デモ	野口	リハビリテーション看護を行うための基本知識の理解を促す。 状況に応じてデモンストレーションを行う。
	4) ポジショニング・体位変換・基本動作 良肢位・褥瘡予防・離床のための基本動作	1			
	5) 移乗・移動動作と補助具の使用 安全な移乗・移動・歩行の理解と歩行補助具	1			
3. 疾患別リハビリテーション看護	6) 脳血管疾患のリハビリテーション看護 急性期から回復期のリハビリテーション看護、失語症等の理解	1	講義 デモ	野口	日常的に遭遇しやすい患者の障害状況に応じたリハビリテーション看護のための知識を得る。
	7) 摂食嚥下リハビリテーション 嚥下の評価と誤嚥を防ぐ食事介助・リハビリテーション看護	1			
	8) 排泄リハビリテーション 排泄動作自立のためのリハビリテーション看護	1		坂本	疾患に合わせた福祉用具等の活用について知識を得る。
	9) 運動器疾患のリハビリテーション看護 高齢者の骨折・人工関節置換術後のリハ看護	1			
	10) 呼吸器・循環器疾患のリハビリテーション看護 運動耐用能に合わせた運動とリハビリテーション看護	1		杉谷	状況に応じてデモンストレーションを行う。
	11) 廃用症候群とその予防 病態生理・早期離床の重要性	1			
	12) パーキンソン病のリハビリテーション看護 疾患特徴とADLの援助・病期ごとのリハビリテーション看護	1		大橋	
	13) 維持期 (生活期) と地域リハビリテーション 訪問看護とリハビリテーション、住環境整備や福祉用具の活用	1			
	14) 高齢者のリハビリテーション看護 認知症患者・看取り期のリハビリテーション・倫理的課題	1		大橋	
		1			
4. 試験	15) 終講試験	1		三宮	
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「リハビリテーション看護」(医学書院)				
評価方法	筆記試験 100点で評価する。				